



「ハチミツ」とくまのプーさん



「はちみつ」といえば「くまのプーさん」ですネー！これは1966年に公開されたディズニーアニメ「Winnie the Pooh and the Honey Tree（くまのプーさん プーさんと はちみつ）」がもとになっていると思われます。でも原作はイギリスの童話作家アラン・アレクサンダー・ミルンの作品で、ウォルト・ディズニーは、娘ダイアンが夢中になって読むこの本をヒントに映画化を考えたそうです。

『ある朝、お腹がすいたプーさんは、戸棚にしまってある大切な はちみつ のツボをのぞきますがガツカリ。もう大好きな はちみつ がありません。そこに一匹のミツバチが入ってきた。ミツバチが蜜を集めるのは、ぼくに食べさせるために決まっています！」プーさんはミツバチを追いかけて外へ飛び出しました。するとミツバチがブンブンいつている高いカシの木を見つげよじ登ります。ところが枝が折れてまっ逆さま。身体は転がりいばらの中へ入ってトゲだらけ。しかし はちみつ をあきらめきれません。そこで友だちを助けることにしました。人間のクリストファー・ロビンです。彼が持っていた風船で、今度は身体を浮かせてはちみつを狙います。ところが急に雲行きが怪しくなりミツバチが怒り出します。ミツバチはプーさんを攻撃してまたもや失敗。しかしプーさんはあきらめきれません。ある晴れた日、ウサギの家を訪ねてお昼を過ごしになります。ところが食べ過ぎでお腹が膨れ、帰ろうとした出口の穴に身体がはさまって抜けなくなってしまうのです。ウサギにとつてはたいへん迷惑な話です。表の出入口がプーさんによってふさがれてしまった

のですから！ウサギはクリストファー・ロビンを呼びに行きましたが、「お腹がへこむまで待つしかない」ということになりました。プーさんは雨の日も毎日々々お腹がへこむのを待ちました。カンガとルーの親子や土ネズミもお見舞いに来ました。そして何日か経ったある朝、ウサギはもうあきらめかけていました。ところがプーさんのお尻を押しみると、ほんの少し動いたのです。ウサギは大喜びでクリストファー・ロビンを呼びにいきました。森の仲間たちが力を合わせてプーさんを引っ張り出すことにしました。すると、ポンッ！と音がして穴からプーさんの身体が抜けたのです！ところが喜んだのもつかの間、プーさんの身体はそのまま飛んでいき、今度は別の木の穴にスポンとはさまってしまったのです。「あーあ、またはさまっちゃった！」しかし、プーさんは大喜び。なぜなら、今度はさまった穴の中は、大好きな はちみつ がいっぱいだったからです。『ちよっと長くなりましたが、「プーさんと はちみつ」のあらすじでした。』

はちみつバタートースト

今日のお料理



【材料】

厚切りにした食パン／バター……………適量／
はちみつ……………好きなだけ

【作り方】

- (1) 厚切り食パンをこんがりトーストします。
※このとき食パンに軽く切れ目を入れておくと、
バターと蜂蜜が絡んで更においしくなります。
- (2) バターを載せ、好きなだけ蜂蜜をかけてできあがり！

はちみつの仲間は元気の源！

はちみつ・ローヤルゼリー・プロポリス・蜂の子



はちみつ家 検索

ミツバチと共に90年——
鈴木養蜂場

〒382-0082 長野県須坂市中町 222-3
TEL 026-245-0379
URL <http://www.はちみつ.net>

